

地域の方から、電話をいただきました。

「朝、ジャパンミートのところに立っていると、一人の一年生の男の子が泣いていた。すると、六年生の女の子がそっと両端に来て、一緒に手をつないで、声をかけながら登校していた。思いやりの心が育まれている」という内容でした。

困っている一年生に寄り添う六年生、すばらしいです。